

令和8年度

発行日 令和8年3月29日

《民俗芸能情報提供》 令和8年4月～6月

団体・個人の入会 随時受付中
 神奈川県民俗芸能保存協会事務局
 <協会ウェブサイト> <https://kanagawa-mzg.jp/>
 <民俗芸能情報の受け入れ窓口> office@kanagawa-mzg.jp

※詳細につきましては、各問い合わせ先にご確認下さい。

※指定・選択区分記号凡例

(大会等で複数の公演を行う場合は、記号を記載していない場合があります。)

- (A) 国指定重要無形民俗文化財 (B) 国選択無形民俗文化財
- (C) 神奈川県指定無形民俗文化財 (D) 神奈川県選択無形民俗文化財
- (E) 市町村指定無形民俗文化財、市町村認定無形民俗文化財

月 日	民俗芸能等の名称	場 所
3月29日(日)	相模里神楽垣澤社中・神楽奉納 (E)	三嶋神社「拝殿・神楽殿」 (平塚市)
4月1日(水)	江島神社初巳例大祭	江島神社 (藤沢市)
4月4日(土) 4月5日(日)	本郷神社例大祭 海老名の祭囃子 (E)	本郷神社 (海老名市)
4月5日(日)	太田和上の里獅子舞・祭囃子	三浦正八幡宮 (横須賀市)
	“源頼朝”旗挙げ武者行列	五所神社～桜木公園 (湯河原町)
	土肥祭 焼亡(じょうもう)の舞	五所神社、桜木公園、城願寺 (湯河原町)
4月11日(土) 4月12日(日)	弥生神社例大祭 海老名の祭囃子 (E)	弥生神社 (海老名市)
	与瀬神社例大祭	与瀬神社ほか (相模原市)
4月12日(日)	神明社例祭 大谷歌舞伎 海老名の祭囃子(大谷はやし連)	神明社境内 (海老名市)
4月15日(水)	舞岡八幡宮例祭・湯花神楽	舞岡八幡宮 (横浜市)
	五所神社祈年祭	五所神社 (鎌倉市)
4月18日(土) 4月19日(日)	高麗寺祭 山神輿 (E)	高来神社・神社周辺 (大磯町)
	鍛冶屋 五郎神社の鹿島踊り (C)	五郎神社・鍛冶屋会館前庭 (湯河原町)
	第71回大岡越前祭	浄見寺周辺、茅ヶ崎駅北口 (茅ヶ崎市)

神奈川県民俗芸能保存協会

月 日	民俗芸能等の名称	場 所
4月25日(土)	三之宮比々多神社例大祭 人形山車と御神輿の巡行	三之宮比々多神社 及び周辺地区 (伊勢原市)
	相模里神楽垣澤社中・神楽奉納 (E)	三之宮比々多神社 (伊勢原市)
	三島社春の大祭 海老名の祭囃子 (E)	三島社 (海老名市)
4月29日(水・祝)	五所八幡宮例大祭 鷺の舞 (E) 五所宮囃子 (E) ※天候により変更の可能性があります	五所八幡宮周辺 (中井町)
	鶴見の田祭り	鶴見神社境内 (横浜市)
	横浜雅楽会による鶴見神社 田祭り奉納雅楽 *公開予定	鶴見神社境内 (横浜市)
5月3日(日・祝)	小田原北條五代祭り 小田原囃子 (C) 小田原古式消防 (E) 小田原ちょうちん踊り	小田原城址公園内 小田原駅周辺 (小田原市)
5月4日(月・祝) 5月5日(火・祝)	国府祭 (C)	神揃山、馬場公園、六所神社他 (大磯町)
	座間市大凧まつり (B)	相模川河川敷 (座間市)
	相模の大凧まつり (E)	相模川新磯地区河川敷(相模原市)
	山王神社祭礼 *詳細な時間は未定 山王神社の大漁木遣唄 (E)	山王神社 (小田原市)
5月5日(火・祝)	公時祭 湯立獅子舞奉納 (A)	公時神社境内 (箱根町)
	前鳥神社麦振舞神事 (E)	神揃山周辺 (大磯町)
5月10日(日)	景能祭	円蔵神明大神宮 (茅ヶ崎市)
5月15日(金)	真名瀬熊野神社例祭・湯立神楽	熊野神社 (葉山町)
5月16日(土)	相模人形芝居下中座 (A) 第67回傘焼きまつり参加	下曾我 ふれあいの郷 (小田原市)
5月16日(土) 5月17日(日)	日枝大神社例大祭 土師流里神楽 萩原社中・神楽奉納	日枝大神社 (川崎市)
6月6日(土)	海南神社八雲祭 (お天王様)	海南神社及び三崎港 (三浦市)
6月7日(日)	生麦蛇も蚊も (E)	原神明社 (横浜市)
	本宮蛇も蚊も (E)	道念稲荷神社 (横浜市)
6月13日(土)	浦賀の虎踊り (B)	為朝神社 (横須賀市)
6月13日(土)～ 6月14日(日) 6月16日(火)	五所神社例大祭 (乱材祭り) 三ツ目神楽	五所神社 (鎌倉市)

月 日	民俗芸能等の名称	場 所
6月14日(日)～ 6月15日(月) 6月20日(土)～ 6月21日(日)	川崎山王祭りの宮座式 (D) (川崎山王祭) *宮座式は原則非公開	稲毛神社 (川崎市)
6月16日(火)	潮神楽 (E)	森戸大明神 (葉山町)
6月21日(日)	第12回港北区民俗芸能のつどい	港北公会堂 (横浜市)

〈3月〉

● 相模里神楽垣澤社中・奉納公演 (E)

期 日：3月29日 (日曜日)

場 所：三嶋神社「拝殿」「神楽殿」(平塚市須賀)

交 通：JR東海道線 平塚駅南口から「須賀港」方面へ、徒歩約10分

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

(拝 殿) 11時～12時 (式典) 神前舞「剣之舞」奉納

(神楽殿) 13時00分～15時 (神楽奉納)

演 目：寿式三番叟付五人囃子・御祝儀三舞(寿獅子舞・大黒舞・両面踊り)

※演目の変更や時間の遅延もあります。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) Tel/Fax 046(229)0485

E-mail: info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

〈4月〉

● 江島神社初巳例大祭

期 日：4月1日 (水曜日)

場 所：江島神社 (藤沢市江の島2-3-8)

交 通：小田急江ノ島線「片瀬江ノ島駅」、江ノ電「江の島駅」、湘南モノレール「湘南江の島駅」下車、徒歩約15分

内 容：毎年4月の初巳の日に行われる江島神社最大の祭儀です。当日は、神社本庁より献幣使の参向があります。宮司、献幣使による祝詞奏上の後、神職による神楽が奉納されます。祭礼内容の詳細については江島神社ホームページにて御確認下さい。

問合せ：江島神社 Tel0466(22)4020

● 本郷神社例大祭 海老名の祭囃子 (E)

期 日：4月4日 (土曜日)、5日 (日曜日)

場 所：本郷神社 (海老名市本郷2656)

交 通：門沢橋駅より徒歩20分、または 海老名駅と寒川駅を結ぶ路線バス「下河内」下車徒歩5分

内 容：「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する、地元の「本郷下河内はやし連」「本郷新宿はやし連」「本郷上町はやし保存会」存会」によるお囃子の演奏の披露を行います。

4月4日（土曜日）宵宮 18時00分

4月5日（日曜日）式典 9時00分

発輿祭 9時30分

還幸歳 18時00分

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係

TEL046(235)4925（直通）

● 太田和上の里 獅子舞・祭囃子

期 日：4月5日（日曜日）（三浦正八幡宮祭礼）

お囃子、獅子舞 13時～ 神事 14時～

場 所：三浦正八幡宮（横須賀市太田和）

交 通：JR横須賀線「横須賀駅」、京浜急行本線「横須賀中央駅」下車、三崎行き、長井行きバス「武山」下車、徒歩約10分 太田和緑地、又は相武幼稚園の奥

内 容：太神楽系の二人立獅子舞です。獅子戯の「いずかい」では、獅子が座り込んで耳をかいたり、幕をかんだりして蚤をとるしぐさをします。調子のいい囃子謡や囃子詞で獅子をからかって怒り立たせます。獅子が御幣を持って舞う悪魔払いの舞「幣の舞」が一番のハイライトです。

問合せ：太田和上氏子青年 鈴木俊充 TEL090(2240)1043

● “源頼朝” 旗挙げ武者行列

期 日：4月5日（日曜日） ※小雨決行、雨天中止

場 所：五所神社～桜木公園

交 通：五所神社…JR東海道本線「湯河原駅」下車、奥湯河原行き、又は不動滝行きバスで約5分、「五所神社前」下車

桜木公園…JR東海道本線「湯河原駅」下車、徒歩約15分

城願寺…JR東海道本線「湯河原駅」下車、徒歩約8分

内 容：平治の乱に敗れ、伊豆に流されていた源頼朝は、治承4(1180)年、湯河原の豪族土肥実平の助けを得て、平家打倒の兵を挙げました。この旗挙げの様子を模して、約200人の鎌倉武者が町内を練り歩きます。

① 9時30分 焼亡の舞、出陣の儀（五所神社）

② 10時30分頃 武者パレード（五所神社～桜木公園）

③ 11時20分 焼亡の舞、武者の名乗り、出陣の儀（桜木公園）

問合せ：湯河原町観光課 TEL0465(63)2111（内線712～715）

● 土肥祭（焼亡くじょうもうの舞）

期 日：4月5日（日曜日）9時30分 五所神社・11時20分 桜木公園・13時40分 城願寺

場 所：五所神社・桜木公園・城願寺（湯河原町） ※小雨決行、雨天中止

交 通：五所神社…JR東海道本線「湯河原駅」下車、奥湯河原行き、又は不動滝行きバスで約5分「五所神社前」下車

桜木公園…JR東海道本線「湯河原駅」下車、徒歩約15分

城願寺…JR東海道本線「湯河原駅」下車、徒歩約8分

内 容：源頼朝が石橋山の合戦の際、敗走した時に湯河原の豪族であった土肥次郎実平の援助を受けました。実平の居城であった土肥の館は平家の手によって燃やされましたが、これを「柴灯護摩〈さいとうごま〉」の聖火ととらえ、実平が即興で舞を舞ったという故事に基づき舞われるものです。源頼朝旗挙げ武者行列において、五所神社と桜木公園で舞い、その後、実平の菩提寺である城願寺で行われる土肥祭にて舞いを奉納します。

○13時40分 土肥祭：土肥実平と源頼朝主従法要、焼亡の舞、一般参加墓参

問合せ：湯河原町観光課 TEL0465(63) 2111 (内線712～715)

土肥会事務局（城願寺）TEL0465(62) 4010

● 弥生神社例大祭 海老名の祭囃子（E）

期 日：4月11日（土曜日）、12日（日曜日）

場 所：弥生神社（海老名市国分北2-13-13）

交 通：小田急・相鉄・JR相模各線 海老名駅東口 徒歩17分

海老名東口駅より相武台下駅行（海10）で「弥生神社前」下車

内 容：12日の前夜祭は、17時から20時まで。「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する、地元の「柏ヶ谷はやし保存会」「上今泉はやし保存会」「国分囃子保存会」によるお囃子の演奏や和太鼓の披露などの奉納演芸を行います。

13日の例大祭では、14時30分から19時までの奉納演芸に加え、神輿渡御も実施。

神輿は13時頃に同神社を出発して、周辺を練り歩き、19時頃に戻ってきます。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係

TEL046(235)4925（直通）

● 与瀬神社例大祭

期 日：4月11日（土曜日）～4月12日（日曜日）

場 所：与瀬神社ほか

交 通：JR中央本線「相模湖駅」下車、徒歩15分

内 容：与瀬は甲州街道の日本橋から10番目の宿場。与瀬神社は江戸時代には蔵王社（蔵王権現）と呼ばれ、大和国（奈良県）吉野から遷座されたといわれます。当初は相模川北岸の社地にありましたが、江戸前期に現在地に遷されました。明治37年に大火災があり、社殿の多くを失いましたが、大正から戦後にかけて再建されました。現在の祭神は日本武尊です。疫病除けの神輿渡御も行われ、『与瀬の権現様』の祭りとして親しまれています。白装束の若者に担がれた神輿が急な50段の石段を豪快に下ります。

11日 宵宮 18：00 山車の運行（甲州街道鳥居から）

12日 本祭 13：00 神輿渡御（与瀬神社拝殿から）

問合せ：相模湖観光協会 TEL042(684) 2633

● 神明社例祭 大谷歌舞伎・海老名の祭囃子（大谷はやし連）（E）

※詳細はご確認下さい。

期 日：4月12日（日曜日）14時30分～

場 所：神明社境内（海老名市大谷北2-13-22）

交通：小田急小田原線・相鉄線・JR相模線「海老名駅」下車、相鉄バス綾31系統「厚木ナイロン経由 農大前」行き「厚木ナイロン」下車徒歩5分

内容：「大谷芸能保存会 歌舞伎部会」は昭和50年に「大谷歌舞伎」として海老名市重要無形文化財に指定され、昭和58年には「かながわの民俗芸能五十選」にも選ばれました。

「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する「大谷はやし連」による演奏を披露します。

演目：大谷歌舞伎

「絵本太功記十段目－尼ヶ崎閑居の場－」（16時35分～17時35分）

大谷はやし連

① 14時40分～14時55分 ②15時25分～15時45分 ③16時15分～16時35分

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係

TEL046(235)4925（直通）

● 舞岡八幡宮例祭・湯花神楽

期日：4月15日（水曜日）14時～

場所：舞岡八幡宮（横浜市戸塚区舞岡946）

交通：横浜市営地下鉄「舞岡駅」下車 徒歩約5分

内容：舞岡八幡宮例祭で「湯花神楽」が行われます。古くは、この辺りは「腰村」と呼ばれていましたが、乾元元年（1302年）に起きた白旗が空に舞うという奇瑞が起こった事に因み、腰村を「舞岡村」と改称し、且つ石清水八幡宮を勧請したと言われていました。その旗は中郡落旗村（現、秦野市鶴巻）に落ちたと伝えられています。

問合せ：横浜水天宮・杉山神社 TEL045(743)3838

● 五所神社祈年祭

期日：4月15日（水曜日）10時～

場所：五所神社（鎌倉市材木座2-9-1）

交通：JR横須賀線、江ノ電「鎌倉駅」下車、京急バス小坪方面行「九品寺」、又は「五所神社前」下車

内容：材木座の鎮守五所神社で行われる春の祈年祭です。神職三人による8座の鎌倉神楽が奉奏されます。3月中旬以降、五所神社HPに正式な日時が掲載される予定です。

問合せ：五所神社 TEL0467(25)0949

● 高麗寺祭 山神輿（E）

期日：4月18日（土曜日）～4月19日（日曜日）

18日：18時～ 山神輿神事、宮立ち [於、高来神社～男坂～上宮]

19日：11時30分～ 境内集合、山神輿神事 [於、上宮～女坂～高来神社]

13時30分～ 宮付け

場所：高来神社・神社周辺（中郡大磯町高麗2-9-47）

交通：JR東海道本線大磯駅よりバス「平塚駅北口」行き「花水」下車徒歩3分

内 容：高来神社の春季大祭で、通称「高麗寺まち」として親しまれています。元々明治に廃寺となった高麗寺の本尊（千手観音）の祭礼にあたり、農具や種苗を売る市が開かれたのが始まりです。近年では、植木市として知られています。本祭には特殊な儀礼として山神輿の行事があります。山神輿は、18日の18時頃から麓の高来神社から標高約160mの高麗山山頂まで神輿を担ぎ上げる勇壮なもので、神輿は祭りの終わる19日に下ります。

問合せ：高来神社 TEL0463(61)1146

● 鍛冶屋 五郎神社の鹿島踊り (C)

期 日：4月18日（土曜日）～19日（日曜日）

場 所：五郎神社と鍛冶屋会館前庭より発輿予定

*神輿渡御に伴って行われます。

交 通：JR東海道本線「湯河原駅」下車、鍛冶屋行きバスで「鍛冶屋」(12分)下車、鍛冶屋会館は鍛冶屋行きバスで「宮渡橋」(7分)下車

内 容：五郎神社の祭典において奉納。鹿島踊りは、相模湾の西部沿岸では小田原市から静岡県東伊豆町までの地域に伝承されていますが、その中で、海から隔たったこの地域の鹿島踊りは、踊り方も他の地域とは異なった特色が伝えられています。両日とも町内を巡り、踊ります。

問合せ：湯河原町教育委員会社会教育課 TEL0465(62)1125 Fax0465(62)1188

● 第71回大岡越前祭

期 日：4月18日（土曜日）～19日（日曜日）

土曜日 [於 浄見寺周辺] 10時～浄見寺地元まつり、15時～墓前祭

[於 茅ヶ崎駅北口] 駅前コンサート（時間未定）

日曜日 [於 茅ヶ崎駅北口] 13時～ビッグパレード

場 所：茅ヶ崎市内各所（浄見寺は茅ヶ崎市堤4317、民俗資料館旧和田家は同寺門前）

交 通：JR東海道線「茅ヶ崎駅」下車、浄見寺へはJR相模線香川駅下車徒歩20分またはコミュニティバス「浄見寺入口」下車（本数が少ないのでご注意ください）。茅ヶ崎駅からバス利用の場合は「文教大学」「湘南台駅」「湘南ライフタウン」行き「堤坂下」下車、徒歩10分

内 容：茅ヶ崎市ゆかりの名奉行、大岡越前守忠相公の偉業を後世に伝え、また同市の観光事業の振興と発展を目的に昭和31年より、毎年4月に全市を挙げて盛大に開催され、2日間にわたって市内全域で様々なイベントが行われます。主な会場は茅ヶ崎駅前と大岡越前の菩提寺である浄見寺周辺です。なお、「大岡越前祭」の公式ホームページにプログラムの詳細が掲載されます。そちらでもご確認ください。

問合せ：大岡越前祭実行委員会 TEL0467(58)1111

● 三之宮比々多神社例大祭 人形山車と御神輿の巡行

期 日：4月25日（土曜日）※4月1日以降、詳細はホームページをご覧ください。

場 所：三之宮比々多神社（伊勢原市三ノ宮1472）及び周辺地区

交 通：小田急小田原線「伊勢原」駅、神奈川中バス、北口1番線（関台経由栗原行）乗車（約15分）「比々多神社」下車、徒歩すぐ、又は、北口1番線（大住台経由鶴

巻温泉行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分、又は、北口4番線(殿村・石倉橋経由伊勢原車庫行)乗車(約12分)三ノ宮下車、徒歩約5分 又は、「鶴巻温泉」駅下車、2番線(大住台経由伊勢原駅北口行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分、又は、2番線(伊勢原車庫行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分(車)新東名伊勢原大山I.Cから車で約5分

※臨時駐車場が設けられます。

内 容：白鳳(はくほう)4年(672)に端を發する年一度の大祭で、三之宮祭(さんのみやさい)の名で親しまれています。内清浄(ないしょうじょう・立ちお神酒)・外清浄(げしょうじょう・火焚き)を厳修した青年により、「イヤートーサッセ(弥遠に栄えたまへ)」の掛け声も勇ましく御神輿が担がれます。また、三基のカラクリ人形山車の巡行や、境内で行われる民俗芸能である相模里神楽、植木市を始めとする数多くの露店もおまつりに花を添えます。

山車は、神戸・栗原・三ノ宮の3地区が所有しており、各山車の上には武者人形が取り付けられています。神戸は歌舞伎「加羅先代萩」の男之助、栗原は同じく「一谷嫩葉軍記」(いちのたにふたぼぐんき)の熊谷次郎直実(くまがいじろうなおぎね)、三之宮は加藤清正です。どの山車にも屋台の上に、大太鼓と小太鼓が据え付けてあり、太鼓囃子を打ち鳴らして進みます。

(例大祭行事予定)

8:30幟立て・諸準備、10:00 例祭式 12:50三之宮青年(三和会)宮詰、12:55 栗原青年宮詰、13:00神戸青年宮詰、13:10行列御立・神輿御立、14:00神戸渡し・振奉幣之儀(ふりほうべいのぎ)、14:25行在所着御祭(あんざいしょちやくぎよさい)、15:00御立之式・發輿祭(はつよさい)、15:20神輿御立、16:00三之宮渡し、17:05神社着(鳥居)、17:10神社着(社殿)ちまき行事、鎮座祭(ちんざさい)

問合せ：三之宮比々多神社 TEL0463(95)3237 ウェブサイト：<http://hibita.jp/>

● 相模里神楽垣澤社中・奉納公演 (E)

期 日：4月25日(土曜日)13時30分～16時30分ごろ

場 所：三之宮比々多神社「神楽殿」(伊勢原市三ノ宮1472)

交 通：小田急小田原線「伊勢原」駅、神奈川中バス、北口1番線(関台経由栗原行)乗車(約15分)「比々多神社」下車、徒歩すぐ、又は、北口1番線(大住台経由鶴巻温泉行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分、又は、北口4番線(殿村・石倉橋経由伊勢原車庫行)乗車(約12分)三ノ宮下車、徒歩約5分 又は、「鶴巻温泉」駅下車、2番線(大住台経由伊勢原駅北口行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分、又は、2番線(伊勢原車庫行)乗車(約12分)「神戸」下車、徒歩約12分(車)新東名伊勢原大山I.Cから車で約5分

※臨時駐車場が設けられます。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

演 目：寿式三番叟付五人囃子・他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax 046(229)0485

E-mail：info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● **三島社春の大祭 海老名の祭囃子**(E)

期 日：4月25日（土曜日）

場 所：三島社（海老名市社家2-13-1）

交 通：JR相模各線 社家駅 徒歩9分

内 容：14時～19時（予定）

「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する、地元の「社家はやし連」によるお囃子の演奏や和太鼓の披露などの奉納演芸を行います。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係

TEL046(235)4925（直通）

● **五所八幡宮例大祭 鷺の舞**(E)、**五所宮囃子**(E) ※天候により変更の可能性あり

期 日：4月29日（水曜日・祝日）10時～20時30分頃

場 所：五所八幡宮（中井町遠藤）

鷺の舞…五所八幡宮近くの広場（17時頃）

五所宮囃子…五所八幡宮とその周辺（終日）

交 通：JR東海道本線「二宮駅」下車、「中井町役場入口行き」神奈中バスで約20分「五所宮」下車

内 容：鷺の舞は、古くから伝わる貴重な民俗芸能で、五所八幡宮の例大祭において奉納される神事。舟型舞台の上で白装束の舞手が鷺頭をつけて太鼓と笛の優雅な調律に合わせて舞う珍しい民俗芸能です。

五所宮囃子は、江戸時代中期の祭囃子として氏子が入り入れ地区ごとに笛で旋律をとり太鼓・締太鼓・鉦でリズムを取る五所八幡宮の祭囃子。

例大祭の当日勢揃いする4台の勇壮な山車の中で演奏されます。

問合せ：五所八幡宮 TEL0465(81)0398

● **鶴見の田祭り**

期 日：4月29日（水曜日・祝日）

場 所：鶴見神社境内（横浜市鶴見区鶴見中央1-14-1）

交 通：JR京浜東北線「鶴見駅」東口、京浜急行本線「京急鶴見駅」西口下車、徒歩5分

内 容：鶴見の田祭りは、鎌倉時代から伝わる横浜最古の民俗芸能で、明治初めに廃絶しましたが、100年の空白を埋めて昭和62年に復活再興、横浜市の奨励団体となり、横浜市の登録文化財になりました。この田祭りは日本文化の根源をなす稲作文化で、春の鍬入れに始まり、秋の豊作までの一連の作業を演じて、その年の豊作を祈願する予祝行事で、田遊びとも呼ばれています。現在県内で伝えられているのは鶴見の田祭りと寒川神社の田打舞だけです。復活再興以来演者たちも世代交代を繰り返しながら確実に若い世代に受け継がれています。12時から大道芸や明神太鼓、阿含宗による「山伏問答と宝剣作法」、箏の演奏、横浜雅楽会による雅楽などが奉納され、16時30分に杉山祭祭典、田祭りの道具改め、御神酒振舞い、墓目行事に続き、18時から田祭りが境内に設えた舞台で始まります。（雨天の場合は参集殿内で行います）

問合せ：鶴見田祭り保存会 TEL045(501)4122

● **横浜雅楽会による鶴見神社田祭り奉納雅楽** *公開予定

期 日：4月29日（水曜日・祝日）
 場 所：鶴見神社境内（横浜市鶴見区鶴見中央1-14-1）
 交 通：JR京浜東北線「鶴見駅」又は京浜急行本線「京急鶴見駅」東口下車、徒歩8分
 内 容：管絃・舞楽
 問合せ：鶴見田祭り保存会 TEL045(501)4122

〈5月〉

● **小田原北條五代祭り 小田原囃子（C）、小田原古式消防（E）、小田原ちょうちん踊り**

期 日：5月3日（日曜日・祝日） 11時～15時ごろ
 場 所：小田原城址公園内、小田原駅周辺
 交 通：小田原城址公園内へは「小田原駅」東口下車、徒歩約10分
 内 容：北條五代祭りは小田原市最大のイベントです。11時10分から出陣式を行い、12時20分から吹奏楽隊、音楽隊、武者隊、まち衆隊の編成による総勢約1700人にも及ぶパレードが市中へ繰り出します。小田原市の民俗芸能を代表する小田原囃子多古保存会や小田原古式消防記念会、小田原ちょうちん踊り保存会も参加し、祭りを盛り上げます。
 問合せ：民俗芸能について 小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717
 北條五代祭りについて 小田原市観光協会 TEL0465(20)4192

● **国府祭（C）**

期 日：5月4日（月曜日・祝日）～5日（火曜日・祝日）
 場 所：神揃山・馬場公園・六所神社他（大磯町国府本郷935他）
 交 通：JR東海道本線大磯駅よりバス「二宮駅」又は「国府津駅」行き「国府新宿」下車徒歩約20分
 内 容：旧相模国内の六社の合祭です。大磯町国府本郷の神揃山を中心に、一之宮（寒川神社）、二之宮（川勾神社）、三之宮（比々多神社）、四之宮（前鳥神社）、平塚八幡宮の五社の神輿が集り、六所神社との間で特殊な祭祀が行われます。総社制度に由来し、一千年にも及ぶ伝統を持つとされる県下最大規模の祭礼です。「座問答」、「鷺の舞」など多くの神事が行われます。各社共参拝者には拍子木切りにした餅を萱の葉で包んだ「粽」を配ります。尚この祭りでは参加神社毎にも各種神事が行われており、一之宮と総社の見合いの式、二之宮の粽行事、三之宮の化粧塚・粽・御霊社の各行事等特殊なものも見られます。又、前日4日には六所神社より行列が出て海岸に下りる浜降式があり、波打ち際での神事後、砂を取り、帰りの道中で区内や各地の祭場を巡りつつ散布します。祭に先立つお清めの神事です。
 問合せ：大磯町教育委員会 TEL0463(61)4100 gakusyu@town.oiso.kanagawa.jp

※ 各神社の当日の行事進行予定や神事内容の詳細に関しましては、それぞれの神社へお問い合わせ下さい。

一之宮	寒川神社	高座郡寒川町宮山3916	TEL0467(75)0004(代)
二之宮	川勾神社	中郡二宮町山西2122	TEL0463(71)0709
三之宮	比々多神社	伊勢原市三ノ宮1472	TEL0463(95)3237

四之宮	前鳥神社	平塚市四之宮2408	TEL0463(55)1195
一国一社	平塚八幡宮	平塚市浅間町1-6	TEL0463(23)3315
総社	六所神社	中郡大磯町国府本郷935	TEL0463(71)3737

● 座間市大凧まつり (B)

期 日：5月4日（月曜日・祝日）～5月5日（火曜日・祝日）10時～16時ごろ（予定）

場 所：相模川河川敷（相模川グランド）

交 通：JR相模線「入谷駅」下車、徒歩約25分

内 容：江戸時代後期に端午の節句を祝う催しとして始まり、約13m四方の大凧を5月の春風の中で揚げます。

問合せ：座間市地域プロモーション課 TEL046(252)8003

● 相模の大凧まつり (E)

期 日：5月4日（月曜日・祝日）～5月5日（火曜日・祝日）

場 所：相模川新磯地区河川敷

①新戸会場（新戸スポーツ広場）

②勝坂会場（新戸スポーツ広場）

③下磯部会場（磯部頭首工下流）

④上磯部会場（三段の滝下広場）

交 通：①②新戸会場、勝坂会場

小田急小田原線「相武台前駅」から「磯部」行きバス（台06系統）、「相武台下駅」下車、徒歩約15分。JR相模線「相武台下駅」下車、徒歩約15分。

③下磯部会場

小田急小田原線「相武台前駅」から「磯部」行きバス（台06系統）、「新磯まちづくりセンター前」下車、徒歩10分。小田急線「相武台前駅」から「原当麻駅」行きバス（台14系統）、「勝坂入口」下車、徒歩約15分

④上磯部会場

JR相模線「下溝駅」下車、徒歩約5分。小田急小田原線「相武台前駅」から「原当麻駅」行きバス（台14系統）、「下溝」下車、徒歩5分

内 容：相模の大凧揚げは、相模原市の新磯地域に天保年間（1830年頃）から5月の節句の際に男児誕生を祝って行われてきたもので、現在では相模原市の伝統行事の一つとなっています。

今年の題字は「「穂風（ほのかぜ）」です。

問合せ：（～4/14）新磯まちづくりセンター 電話：046-251-0014

（4/15～）相模原市コールセンター 電話：042-770-7777

● 山王神社祭礼・山王神社の大漁木遣唄 (E) *詳細な時間は未定

期 日：5月4日（月曜日・祝日）宵宮、5日（火曜日・祝日）本宮（予定）

場 所：山王神社（小田原市浜町4-30-15）

交 通：「小田原駅」下車、徒歩約19分、伊豆箱根鉄道大雄山線「緑町駅」下車、徒歩約16分

内 容：小田原旧市街の東にある山王神社の大漁木遣唄は、かつては漁業に従事するときの仕事唄であり、後に婚礼や建前、神社祭礼の儀式唄を兼ねるようにな

った全国的にも珍しいものです。現在は、小田原市山王原大漁木遣唄保存会により継承されています。

問合せ：小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717

● **公時祭 湯立獅子舞奉納 (A)**

期 日：5月5日（火曜日・祝日） 式典11時～、湯立獅子舞12時～（予定）

場 所：公時神社境内（箱根町仙石原）

交 通：箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から箱根登山バス桃源台行きで30分、「仙石」下車、徒歩約15分

内 容：仙石原に伝わる湯立獅子舞は、江戸時代に現在の山梨県富士吉田市から伝えられ、無病息災・天下泰平を願って行われます。獅子が釜で湯立を行いながら舞を舞う様は全国的にも希少で、大変見ごたえがあります。仙石原（仙石原神楽保存会）と宮城野（宮城野獅子舞保存会）の2地区の湯立獅子舞は、令和4年3月23日に静岡県御殿場市の沼田・大坂の湯立神楽と共に国重要無形民俗文化財の指定を受けました。

問合せ：箱根町仙石原観光協会 TEL0460(84)3500

● **前鳥神社麦振舞神事 (E)**

期 日：5月5日（火曜日・祝日）10時30分ごろ

※行事の進行状況により前後します。

場 所：神揃山周辺（中郡大磯町国府本郷）

交 通：JR 東海道本線大磯駅より、「二宮駅」又は「国府津駅」行きバス「国府新宿」下車徒歩約20分

内 容：相模国四之宮前鳥神社（平塚市四之宮2408）に伝えられている神輿担ぎの白丁達に麦飯の力飯を振舞う神事で、5月の国府祭と9月の例大祭の宵宮に行われていますが、両者の間では食材等に相違が見られます。

国府祭時の麦振舞神事は神社ではなく、国府祭祭場である大磯町国府本郷神揃山近くの馬場の畑中を祭場として行われます。注連縄の中へ神輿を安置し、前には正中を空けて2列の蓆を敷き、白丁達が2手に分かれて対面着座します。神職による祭典が終って、白丁達の前に折敷が並べられます。折敷には土器とツワブキの葉（本来は里芋の葉だがこの時期には手に入らないので代用）に盛った強飯・大根の煮物に唐辛子を添えたもの、及び篠竹の箸を載せてあり、袴・陣笠姿の氏子総代が神輿より神酒を下して各員の土器に注いで回った後、全員が一斉に神酒を飲み干し、次いで食物を素早く食べ、拳を突き上げて喊声を挙げ、再度神輿を担ぎあげるのが大まかな流れです。国府祭では強飯に大豆を混ぜ、大根には干大根を用いるのが例大祭との違いです。

尚、前鳥神社ではこの日夕方、国府祭祭場より四之宮地区内へ帰還した一行を、神社の大神輿が下郷神酒所（平塚市四之宮2-2-51）に出向いて迎え、共に神社まで還御する「迎え神輿」の行事も行われています。

問合せ：前鳥神社 TEL0463(55)1195

● **景能祭**

期 日：5月10日（日曜日）11時～15時30分頃 ※小雨決行、雨天中止

場 所：円蔵神明大神宮（茅ヶ崎市円蔵）

交 通：JR東海道線「茅ヶ崎駅」下車、徒歩約25分、又は茅25「寒川駅南口」行き若しくは茅26「文教大学」行きバスで約10分、「円蔵」下車、徒歩約4分

内 容：鎌倉時代に円蔵一帯の懐島郷を所有していた懐島（大庭）景能（景義）の館があったことから、その功績を後世に伝えることから始まったのが、景能祭です。11時から神事が執り行われ、13時からは当時を模した鎧兜をまとった50名からなる武者行列が、茅ヶ崎市の無形文化財としては初めて指定された圓蔵祭囃子を先頭に円蔵を練り歩きます。帰社後、14時30分頃からは景能を主人公とした奉納演劇が開催され、終演後15時頃から懐島の歴史を紐解く講義が行われます。情報は、円蔵神明大神宮Instagramや円蔵神明大神宮・円蔵氏子会Facebookで発信しますので、ご覧ください。

問合せ：景能祭実行委員会 kochi6005@gmail.com、円蔵神明大神宮Instagram (<https://www.instagram.com/enzoshinmeidaijinguu/>)、円蔵神明大神宮・円蔵氏子会Facebook (<https://www.facebook.com/hutokorojina>)、又は上記SNSダイレクトメッセージ

● 真名瀬熊野神社例祭・湯立神楽

期 日：5月15日（金曜日） 昨年は15時から行われました。

場 所：熊野神社（三浦郡葉山町一色2480）

交 通：JR横須賀線「逗子駅」又は京浜急行「新逗子駅」下車、京急バス「海岸回り、葉山一色」行き「真名瀬」下車、徒歩すぐ

内 容：森戸神社の境外末社である真名瀬熊野神社例祭で執り行われます。当日は湯立神楽8座が奉奏されます。開始時刻は祭礼日が近くなりましたら直接お問い合わせ下さい。

問合せ：森戸大明神（森戸神社） TEL046(875) 2681

● 相模人形芝居下中座 第67回傘焼きまつり参加 (A)

期 日：5月16日（土曜日） 16時～

場 所：下曾我 ふれあいの郷（小田原市曾我原147）

交 通：JR御殿場線「下曾我駅」下車 徒歩約4分

内 容：演目『曾我物語 十郎五郎出立の段』

日本三大仇討ちの一つ、曾我兄弟の仇討ちを題材にしています。小田原市曾我地区は曾我兄弟ゆかりの地であり、隣接する中村地区に存在する相模人形芝居下中座が、人形浄瑠璃に仕立てました。

藤田和嘉子原作、野澤勝平作曲、下中座振付・演出、吉田簗二郎人形特別指導。

太夫 竹本織太夫 三味線 野澤勝平(録音による上演)

他に下曾我小学校児童による児童劇、たいまつ行列、傘焼き神事などが下曾我梅の里センターなどで行われます。

問合せ：相模人形芝居 下中座 座長 佐藤 光昭

メール hapsatomi@gmail.com

傘焼きまつり実行委員会 事務局 佐宗 TEL090-2465-1274

● 日枝大神社例大祭 土師流里神楽 萩原社中・神楽奉納

期 日：宵宮祭 5月16日（土曜日）

大祭式 5月17日（日曜日）

場 所：日枝大神社（川崎市川崎区小田2-14-7）

交 通：JR川崎駅東口より臨港バスに乗車

のりば4：川28系統 京町循環「京町」下車、約300メートル

川30系統 鶴見駅東口「京町」下車、約300メートル

内 容：例大祭は5月第3日曜日とその前日の土曜日に実施され、日曜日の大祭式では宮神輿渡御と神楽奉納が行われます。

神楽元締の萩原家は江戸時代から続く家柄で、鶴見区の潮田神社・市場熊野神社・矢向日枝神社の宮司を務めてきました。現在の諄夫氏は21代目に当たり、矢向日枝神社の宮司でもあります。土師流の神楽を継承し、横浜・川崎・東京南部の神社で神楽を奉納しています。

問合せ：（祭礼について）日枝大神社 TEL044(333)1046

（神楽について）矢向日枝神社 TEL045(571)4697

〈6月〉

● 海南神社八雲祭（お天王様）

期 日：6月6日（土曜日）神輿渡御開始 10時

神輿奉還 22時

場 所：海南神社及び三崎港

交 通：京浜急行久里浜線「三崎口駅」下車、2番線バス乗り場から「城ヶ島行」「通り矢行」「三崎港行」で、20分「三崎港」下車、徒歩2分

内 容：このお祭りは、江戸時代、三崎に疫病が流行ったとき、疫病平癒の神スサノウノミコト（ゴズテンノウ）を海南神社の相殿に祀り、疫病平癒を願いました。毎年、疫病が流行るこの時期に、ご祭神を神輿に遷し、町内を渡御します。昔は三崎の日の出区から西の浜区まで、神輿の町内渡しによって各町内へ引き継がれ、渡御していたが、現在では、海南神社青年会と楽囃会が中心となり神輿の渡御と山車の巡行を行っています。

問合せ：海南神社 TEL046(881)3038

● 生麦蛇の蚊も（E）※詳しい内容は未定

期 日：6月7日（日曜日）※予定

場 所：原神明社（横浜市鶴見区生麦3-13-37）

交 通：京浜急行本線「生麦駅」下車、徒歩約7分

内 容：蛇も蚊もは、約300年前に疫病が流行した時に、萱で作った蛇に悪霊を封じ込めて海に流したことに始まり、伝承されてきました。また、雨乞いの行事とも言われています。昔は端午の節句の行事でしたが、現在は毎年6月の第1日曜日、原神明社境内で、萱の長さ約20m、胴回り約1mの蛇体を作り、大人・子供で「蛇も蚊も出たけい 日和の雨けい 出たけい 出たけい」と唱えながら町内を練り歩きます。

問合せ：生麦蛇も蚊も保存会

● **本宮蛇も蚊も**（E）※詳しい内容は未定

期 日：6月7日（日曜日）※予定

場 所：道念稻荷神社（横浜市鶴見区生麦4-27-21）

交 通：京浜急行本線「生麦駅」下車、徒歩8分

内 容：1週間前に萱で長さ20m程の大蛇を3頭作ります。当日は、蛇を担ぎ、「蛇も蚊も出たけい 日よりの雨けい」と唱えながら、町内1軒1軒首を差し入れて練り歩き無病息災を祈念します。祭礼後、参加した子供たちには柏餅が配られます。1頭の頭を焚き上げて行事を締めくくります。10時半ころ生麦小学校付近です。

問合せ：本宮蛇も蚊も保存会

● **浦賀の虎踊り**（B） *雨天中止 当日の実施はご確認下さい。

期 日：6月13日（土曜日）19時30分頃～

場 所：為朝神社（横須賀市西浦賀町1）

交 通：京浜急行「浦賀駅」下車、徒歩20分、京急久里浜駅行バス「紺屋町」下車、徒歩約7分、又は千代ヶ崎 京急久里浜駅行バス「西浦賀町四丁目」下車、徒歩3分
京浜急行「久里浜駅」下車、浦賀駅行バス「紺屋町」下車、徒歩約7分、又は千代ヶ崎 浦賀駅行バス「西浦賀町四丁目」下車、徒歩約3分

内 容：伊豆下田の奉行所が浦賀に移された時、町人と共に来て伝えられたと言われていいます。近松門左衛門作の『国性爺合戦（こくせんやかっせん）』の主人公和藤内（わとうない）の虎狩りを題材とし、「唐子踊り」の後に虎が登場します。異国情緒漂うお囃子に合わせて虎が踊り、やがて和藤内が虎を従え叶明神の神札をかかげて幕となります。

問合せ：浦賀虎踊り保存会 TEL046(841)6721

● **五所神社例大祭（乱材祭り）・三ツ目神楽**

期 日：6月13日（土曜日）～14日（日曜日）、16日（火曜日）

場 所：五所神社（鎌倉市材木座2-9-1）

交 通：JR横須賀線、江ノ電「鎌倉駅」より京急バス小坪方面行「九品寺」又は「五所神社前」下車

内 容：神輿の海上渡御で有名な五所神社例大祭の三日目に奉奏される事から三ツ目神楽と称されます。かつて、祭礼は一週間行われており、三ツ目神楽のある三日目は祭礼の中日でしたが、現在は日程が短縮されたため例大祭最終日の神事となっています。神輿の町内渡御や浜降りが行われる本年の大祭は14日（例年6月第2日曜日）です。土曜の宵宮祭は19時から、大祭の日曜日は10時より式典を行い、その後に発輿、神社を出立して11時から17時まで材木座の町内を練り歩き海岸へ向かいます。また、神輿の出立にあわせて天王唄が歌われます。15時ごろに材木座海岸に浜降りし御旅所祭を行います。その後、海岸から神社に戻り還御となります。祭りの最後となる三ツ目神楽は16日（火曜日）10時から五所神社境内にて執り行われます。なお、例大祭が近くなると行事や日程等の詳細が五所神社HPに掲載されます。

問合せ：五所神社 TEL0467(25)0949

● **川崎山王祭の宮座式 (D) (川崎山王祭) *宮座式は原則非公開です。**

期 日：宵宮 6月14日 (日曜日) 18時、山王祭 6月15日 (月曜日) 10時、
古式宮座式 (非公開) 6月15日 (月曜日) 14時、
神代神楽 6月20日 (土曜日) 6月21日 (日曜日) 13時

場 所：稲毛神社 (川崎市川崎区宮本町7-7) 他

交 通：JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、徒歩約7分、
京浜急行線「京急川崎駅」下車 徒歩約5分

内 容：稲毛神社は、江戸時代には「河崎山王社」と呼ばれ、東海道川崎宿の鎮守として地元住民の信仰を集めていました。旧暦6月15日に行われていた大祭は、「川崎山王祭」と呼ばれ、新暦への移行後は旧暦6月15日に近い時季にあたる8月2日を中心とした日程で行われてきました。しかしながら、近年の猛暑を受け、令和8年からは新暦でも6月15日を中心とした日程で行うこととなりました。14日18時から宵宮祭、15日10時から山王祭、同日14時から県選択無形民俗文化財「川崎山王祭の宮座式」(古式宮座式)が行われます。七家九人の社人のうち「お台所役」をつとめる者は、古来よりの口伝の方法で「麦御供(むぎこく)」「(麦でつくる3種類のお供え物)と「濁り酒」をつくります。特別な装束を着てそれを神様に供え、おさがりを皆で食します。このとき箸は青茅(あおがや)を用います。その後、孔雀と玉の2体の大神輿に御神体をお遷しします。この遷し方に秘伝があって、それは神様の「結婚」といわれています。この一連の儀式は「宮座式」と呼ばれ、かつては浄闇(夜)の中で行われ、一般の人は参列することも見ることもできない秘式として伝えられてきました。20日と21日に神代神楽などが行われ、20日に町内みこし連合渡御、21日には神幸祭(神社大みこし渡御)が行われる予定です。なお、例祭(儀式)は従来通り8月2日に行われます。

問合せ：稲毛神社社務所 TEL044(222)4554

● **潮神楽 (E)**

期 日：6月16日 (火曜日) 去年は11時から行われました。

場 所：森戸大明神 (三浦郡葉山町堀内1025)

交 通：JR横須賀線「逗子駅」又は京浜急行逗子線「新逗子駅」より京急バス「海岸回り葉山一色」行き「森戸神社」下車

内 容：海上の安全と豊漁を祈願して、例年6月16日に執り行われる湯立(鎌倉)神楽です。ここ森戸神社では潮神楽と称しています。当日境内では海市山市が開催され地元産の魚や野菜が販売されます。なお、神事祭礼、潮神楽等の開始時刻は祭礼日が近くなりましたら直接お問い合わせ下さい。

問合せ：森戸大明神 (森戸神社) TEL 046(875)2681

● **第12回港北区民俗芸能のつどい *詳細はご確認下さい。**

期 日：6月21日 (日曜日)

場 所：港北公会堂 (横浜市港北区大豆戸)

交 通：東急東横線「大倉駅」下車 徒歩7分、JR横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜」下車、横浜市営バス・川崎鶴見臨港バス「港北区総合庁舎前」下車 徒歩1分
内 容：2013年から始まった港北区民俗芸能のつどい。横浜市港北区には、雅楽あり、太鼓あり、お囃子あり、獅子舞があり、港北区にもこれだけの伝統芸能が残っています。港北区民俗芸能保存会に加盟している各団体は、町内会や学校、神社やお寺、お祭りなど、各地域でさまざまな活動をしていますが、このイベントは、それらの団体を一同に集めて年に一回発表する場です。

出 演：未定

問合せ：港北区総務部地域振興課 Tel045(540)2239